

# としよかん だより

2020.5 No.147

長崎市立図書館

〒850-0032 長崎県長崎市興善町 1-1  
☎ 095-829-4946 FAX 095-829-4948  
ホームページ <http://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>



ホームページスマホ版

## お知らせ

### ■5月の開館状況等

- \*新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、5月の開館やイベント開催を変更することがあります。
- \*一部の雑誌で、発売日の変更や発売中止が発生しています。
- \*最新の情報は図書館ホームページ、ツイッター、フェイスブックでご確認ください。



### ■「My ライブラリ」でオリジナルの本棚を作ってみませんか？

図書館ホームページの「My ライブラリ」に「My 本棚」という機能があります。

これから読みたいと思った本やこれまでに読んだことがある本を登録することで、自分だけのブックリストとしてご利用いただけます。

「My 本棚」は10個まで登録でき、1つの本棚に100冊まで保存できます。

皆さまの読書生活に、ぜひご活用ください。



## Information 5月の特集展示から担当者のオススメ本を Pick Up!

### 1階特集展示 ころろを整える



心とカラダを整える  
おとなのための1分音読  
山口 謠司 / 著

声に出すと気分がスッキリ。黙読とはまた違った楽しさがあります。(自由国民社・2017年刊)  
棚：1階暮らし ラベル：K809.4ヤ



心地よさのありか  
小川 奈緒 / 文, 小池 高弘 / 画

自分にとっての“心地よさのありか”を探してみませんか。(パイインターナショナル・2017年刊)  
棚：1階日本現代 ラベル：F914.6カ

### 2階特集展示 歴史からみる人類



ホモ・サピエンスの15万年  
古澤 拓郎 / 著

身近なテーマをもとに、人類の15万年の歴史を辿ります。(ミネルヴァ書房・2019年刊)  
棚：2階フロア ラベル：361.7フ



ロボットが家にやってきたら...  
遠藤 薫 / 著

ロボットやAIの普及で、私たちの暮らしはどう変わっていくのでしょうか。(岩波書店・2018年刊)  
棚：1階新書 ラベル：S548.3エ

# BOOKS 人と妖怪

豊作や疫病を予言すると伝えられている妖怪・アマビエ。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、その名前が広く知られるところとなりました。

今号では、江戸時代に描かれた妖怪や長崎に伝わる話などについての本をご紹介します！



『新聞文庫・絵』（京都大学附属図書館所蔵）



## 水木しげる妖怪道五十三次

水木 しげる／著  
YM ブックス, 2006 年刊

水木しげるさんが描く  
アマビエが登場します！

もっと知りたい方には  
こちらもおすすめ！



## 日本妖怪学大全

小松 和彦／編  
小学館, 2003 年刊



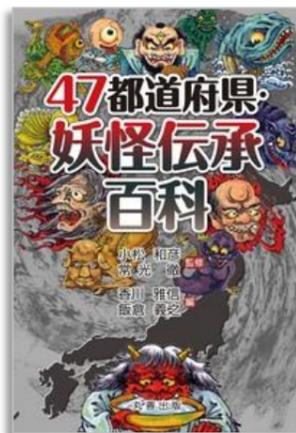
## 妖怪の通り道

常光 徹／著  
吉川弘文館, 2013 年刊



## 江戸の妖怪絵巻

湯本 豪一／著  
光文社新書, 2003 年刊  
棚 : 2階フロア  
ラベル: 388.1ユ



## 47 都道府県・妖怪伝承百科

小松 和彦／監修  
丸善出版, 2017 年刊  
棚 : 2階フロア  
ラベル: 388.1ヨ



## 死者の民主主義

畑中 章宏／著  
トランスビュー,  
2019 年刊  
棚 : 2階フロア  
ラベル: 380.4ハ

妖怪が爆発的に増えた江戸時代。人と妖怪の意外な関係や日本妖怪史に残る事件などを取り上げます。

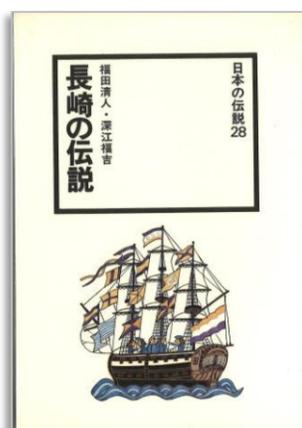
妖怪たちはどこで生まれ、どのようにして育ったのか。その土地の特徴と、それを反映した妖怪を見比べても楽しい。

大震災をめぐる幽霊と妖怪、IT と怪異現象、熊を神に祀る風習など、近代化のなかで見過ごされてきたものに注目します。



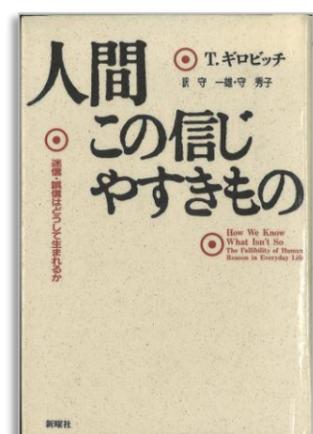
## 怖い浮世絵

日野原 健司／[編]著  
青幻舎, 2016 年刊  
棚 : 2階フロア  
ラベル: 721.8コ



## 長崎の伝説 (日本の伝説〈28〉)

福田清人ほか／著  
KADOKAWA, 1978 年刊  
棚 : 2階地域  
ラベル: N388.1ニ



## 人間この信じやすきもの

T.ギロピッチ／著  
新曜社, 1993 年刊  
棚 : 2階フロア  
ラベル: 387.9ギ

江戸の人々が抱く恐怖のイメージを描いた月岡芳年、葛飾北斎、歌川国芳…。美しくも身の毛がよだつ怖い浮世絵の世界を解説。

光源寺の産女の幽霊や河童など、長崎で有名なお話を収録。縁のある史跡の写真や「長崎伝説地図」の付録付き。

副タイトルは「迷信・誤信はどうして生まれるか」。多数の日常生活の実例をもとに、その謎に迫ります。